

はじめに



私たちのまち光市には、瀬戸内海国立公園に指定されている白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸をはじめ、国の天然記念物である峨嵋山樹林、市民や水鳥の憩いの場となっている島田川、神籠石のある石城山を中心とした石城山県立自然公園など、山、川、海の調和のとれた美しい自然が数多く残されています。

こうした先人から受け継いだ豊かな自然環境を次代に維持・継承していくことが、今を生きる私たちに託された大きな責務です。

本市においては、平成18年2月に自然の創造と保全を基本理念とした「光市自然敬愛基本構想」を策定し、3月には「光市自然敬愛都市宣言」が採択されました。そして、平成19年3月に「環境の保全、創造及び再生」を基本理念とした「光市環境基本条例」を制定したところです。また、平成24年3月に策定した「光市総合計画後期基本計画」においても、特に優先して取り組む政策の1つとして「人と自然が共生するエコロジー生活創造プロジェクト」を掲げ、市民の皆様と一緒に低炭素社会、循環型環境づくりに向けた様々な取組みを展開しています。

さらに、平成25年3月には「第2次光市環境基本計画」を策定し、本市の新しい環境像「人に自然にやさしさあふれる環境都市 ひかり」を実現するため、計画を先導する事業を5つのリーディングプロジェクト（「光ソーラーCITYプロジェクト」、「STOP地球温暖化プロジェクト」、「人と自然のハーモニープロジェクト」、「MOTTAINAIプロジェクト」、「まち美化パートナーシッププロジェクト」）として位置付け、優先的かつ重点的な取組みにより、本市の環境まちづくりを進めています。

このほかにも、一事業者としての市役所が率先して地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの削減を図るため、平成23年3月に平成27年度を目標年度とした「光市エコオフィスプラン（第2期）」を策定し、全職員で環境負荷の低減に向けて取り組んでいるところです。

本書は、平成25年度における環境に関する実施事業及び調査結果等についてまとめたものですが、今後、関係各位に広く活用され、環境問題と環境行政への理解を深めていただく手助けとなりましたら幸いです。

平成27年3月

光市長 市川 熙